

「衝撃作用に対する構造性能照査法の基礎と応用」に関する講習会の開催について

構造工学委員会「耐衝撃設計における安全性照査法に関する研究小委員会」（委員長：別府万寿博 防衛大学校教授）では、4年間に渡る小委員会活動成果を、構造工学シリーズ 29『衝撃作用に対する構造性能照査法の基礎と応用』として出版する運びとなりました。

つきましては、下記のとおり講習会を開催致しますので奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。なお、本講習会は「土木学会認定 CPD プログラム」の対象となっております。

記

1. 主 催：土木学会構造工学委員会（担当：耐衝撃設計における安全性照査法に関する研究小委員会）
2. 日 時：2023年3月16日（木）13:00～17:20
3. 場 所：金沢商工会議所2F大会議室（〒920-8639 石川県金沢市尾山町 9-13）

およびオンライン（ZOOM）、動画視聴（1ヶ月間）

※新型コロナウイルス感染症に関する国内動向によってはWEB聴講のみとし、対面会場での聴講を取りやめる可能性があります。あらかじめご了承ください。

4. 定 員：会場定員 70 名，オンライン定員 300 名
5. 参加費：正会員 10,000 円，非会員 12,000 円，学生 6,000 円（書籍代含む）

※オンライン参加の方は、テキストを講習会前日までに郵送にてお送りします。

住所不備等の理由で返送された場合、行事開催日までに間に合わない可能性がございます。

会場参加の方は会場にてお渡し致します。

6. 申込方法：

土木学会ホームページ（<https://www.jsce.or.jp/events>）から、お申し込みください。

※申込みに関してのお願い

(1) オンライン参加と講堂参加の区分にご注意の上お申し込みをお願いいたします。

(2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。

なお、**締切日以降の受付はいたしません。**

(3) **申込受付後のキャンセルはできません。**

(4) 会場にて聴講される方は、当日参加券メールを印刷しご持参ください。

(5) オンライン聴講される方には、ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールにてオンライン視聴方法をご連絡させていただきます。

7. **申込締切：2023年3月2日（木）**

8. CPDについて：

本講習会は土木学会継続教育（CPD）プログラムに認定されております。

【会場参加】

会場にて受講印を押印いたしますので必ず受講証明書をご提出ください。

【オンライン参加】

CPD受講証明は事前の参加申込者のうち、アンケート（100文字以上の簡易レポート）を提出していただき受講していたことが確認できた方に発行いたします。

セミナー終了後、下記URLよりアンケートにご回答ください。

受講証明アンケート

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScKQDGais89ZbbXec1hKJgowXYZDINn8BBIUam8ahwUj9V0cA/viewform?usp=sf_link

※アンケートの回答期日は、2023年3月19日（日）までになります。回答期日を過ぎますと受付いたしませんので、ご注意願います。内容を確認し、提出期限日以降に順次受講証明証を発行いたします。多少お時間を頂く場合もございますのでご了承ください。参加申込まいただいた方の代理で参加される場合は、事前に上記の問合せ先までご連絡ください。ご連絡いただいた方のみ受講証明書の発行を予定しております。

土木学会CPDシステムをご利用の方は、参加者ご自身によるCPDシステムへの「自己登録」をお願いいたします。

建設系CPD協議会加盟団体CPDシステムをご利用の方は、各団体のルールに沿って、CPD単位の申請をお願いいたします。申請の提出方法等は提出先団体に事前にご確認ください。土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。土木学会では他団体の運営するCPD制度に関しては回答いたしかねます。

9. 問合せ先：

公益社団法人 土木学会構造工学委員会（事務局担当：岡崎）

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目外濠公園内

mail : okazaki@jsce.or.jp



「衝撃作用に対する構造性能照査法の基礎と応用」に関する講習会

日時：令和5年3月16日(木) 13:00~17:20

場所：金沢商工会議所

プログラム

- | | 司 会 |
|---------------------------------------------|------------------------------|
| 13:00~13:05 開会挨拶 | 栗橋祐介 (金沢大学)
別府万寿博 (防衛大学校) |
| セッション1 耐衝撃設計における性能照査およびリスク評価の考え方 | |
| 13:05~13:20 衝撃問題の特徴, 性能設計とリスク評価の考え方 | 榎谷 浩 (金沢大学) |
| 13:20~13:35 落石対策工の設計法に関する最近の動向と提案 | 若林 修 (東京コンサルタンツ(株)) |
| 13:35~13:50 鋼製透過型砂防堰堤の設計法に関する最近の動向と提案 | 嶋 丈示 ((一財)砂防・地すべり技術センター) |
| セッション2 簡略法による性能照査 | |
| 13:50~13:55 簡略法による性能照査の概要 | 別府万寿博 (防衛大学校) |
| 13:55~14:05 ロックシェッドの設計法と課題 | 中村佐智夫 (日本サミコン(株)) |
| 14:05~14:15 落石防護柵・網の設計法と課題 | 橋口寛史 (東京製鋼(株)) |
| 14:15~14:25 雪崩防護工・崩土防護工の設計法と課題 | 西田陽一 ((株)プロテックエンジニアリング) |
| 14:25~14:35 砂防堰堤の設計法と課題 | 國領ひろし (日鉄建材(株)) |
| セッション3 実験による性能照査 | |
| 14:35~14:40 実験による性能照査の概要 | 栗橋祐介 (金沢大学) |
| 14:40~14:50 重錘衝突を受ける RC 構造要素/構造物の性能照査や検証の事例 | 栗橋祐介 (金沢大学) |
| 14:50~15:00 飛来物衝突/爆発作用を受ける RC 版の性能照査や検証の事例 | 市野宏嘉 (防衛大学校) |
| 15:00~15:10 飛来物防護ネットの性能照査や検証の事例 | 南波宏介 ((一財)電力中央研究所) |
| 15:10~15:20 衝突作用を受ける構造物の縮小模型実験に適用する相似則 | 手嶋良祐 (ベルテクス(株)) |

15:20～15:35 休憩

セッション4 衝撃問題を対象とした数値解析の検証と妥当性確認

15:35～15:45 数値解析の検証と妥当性確認の概要

山本佳士（法政大学）

15:45～15:55 低速衝突を受ける RC はりの最大変位に関する実験式の妥当性確認例

栗橋祐介（金沢大学）

15:55～16:05 低速衝突を受ける RC はりの衝撃解析における妥当性確認のケーススタディ

栗橋祐介（金沢大学）

16:05～16:15 低速衝突を受ける RC はりの衝撃解析における感度解析と留意点

小室雅人（室蘭工業大学）

16:15～16:30 高速衝突を受ける RC 版の衝撃挙動と数値解析

松澤 遼（伊藤忠テクノソリューションズ(株)）

セッション5 衝撃問題に関する調査・分析資料

16:30～16:35 衝撃問題に関する調査・分析資料の概要

南波宏介（(一財)電力中央研究所）

16:35～16:45 落石防護に関する研究変遷とビジョン

塩見昌紀（ベルテクス(株)）

16:45～16:55 飛来物衝突に関する研究変遷とビジョン

山田和彦（山口大学）

16:55～17:05 土石流対策に関する研究変遷とビジョン

堀口俊行（防衛大学校）

17:05～17:15 国際学術誌掲載の RC 部材（はり・版）の衝撃実験事例

玉井宏樹（九州大学）

17:15～17:20 閉会挨拶

園田佳巨（九州大学）